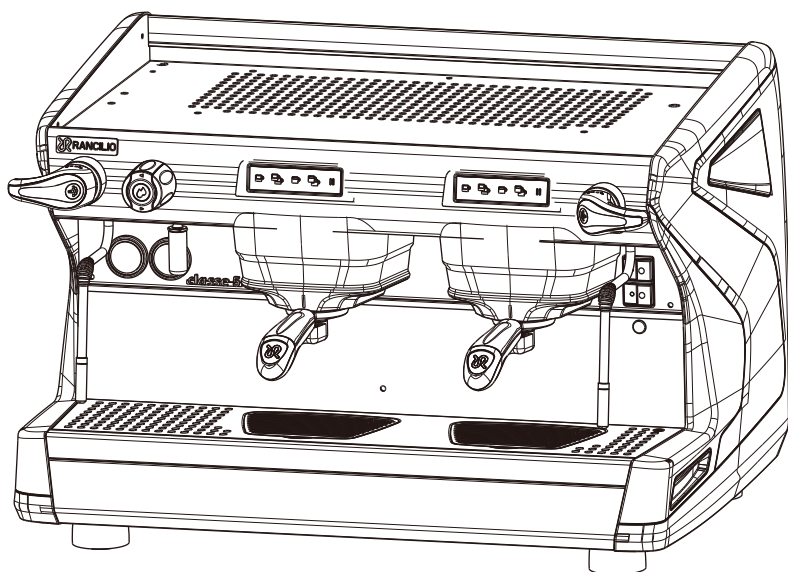
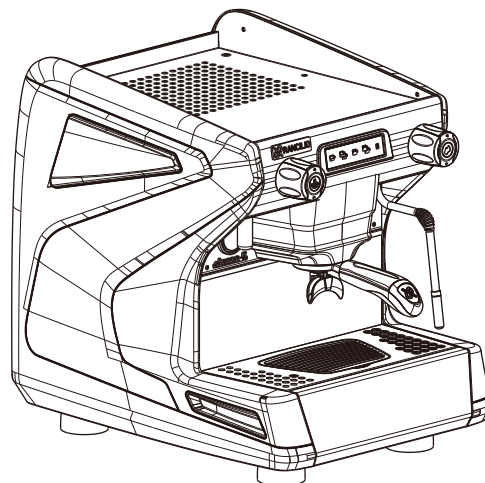




エスプレッソコーヒーマシン

CLASSE 5

取扱説明書



目次

頁

安全上の注意事項	P1 ~ 2
各部の名称	P3
設置	P4
操作方法	P5 ~ 7
立ち上げ手順	P5
エスプレッソコーヒー抽出方法	P5
コーヒー抽出量の設定	P6
熱湯の給湯方法	P6
蒸気を取り出し方	P7
Youスチーム使用方法	P7
基本設定	P8
毎日の清掃	P9
仕様	P10
製品保証書	裏面に記載

このたびは、RANCILIO CLASSE 5 を、お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解していただいた上でお使いいただき、いつでも取り出せる所に、保管しておいてください。

安全上の注意事項

●ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

表示内容は次の通りです。

⚠ 警告 守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。

⚠ 注意 守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

⚠ 警告

据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼すること

ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

アース工事を必ず行うこと

アース工事はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事士による第3種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。)

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回線を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電や火災の原因になります。

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電や感電の原因になります。

製品に直接水を掛けないこと

漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。

機械内部の電気装置や配線に触らないこと

ヤケドや感電のおそれがあります。

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、束ねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

漏電遮断器が「OFF (切)」に作動したときは、お買い上げ店に連絡すること

無理にレバーを「ON (入)」にすると、感電や火災の原因になります。

電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、各スイッチを操作しないこと

感電の原因になることがあります。

異常時はメインスイッチを「OFF (切)」にし、電源プラグを抜くか(電源プラグを使用の場合) 専用電源を切って、すぐにお買い上げ店に連絡すること

異常のまま運転を続けると、感電や火災の原因になります。

熱湯ボタンおよびスチームノブを操作するときは、熱湯ノズル、スチームノズルがドリフトトレイに向いているか確認すること

また、顔や手などに向けないこと

ヤケドの原因になります。

顔や手、または他人にスチームノズルを向けないこと

ヤケドの原因になります。

容器にコーヒー、スチーム、熱湯を取り出す場合、容器はドリフトトレイ上に置くこと

持ったまま取り出すと、ヤケドの原因になります。

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理は行わないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電や火災の原因になります。

改造は絶対に行わないこと

改造されると、水漏れや感電、火災の原因になります。

移設は専門業者か、お買い上げの店に相談すること

据え付け不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

廃却は専門業者か、お買い上げの店に依頼すること

放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。

安全上の注意事項



床面が丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると、水漏れや転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

本機の周囲は、壁およびものから 10cm 以上空けること

熱がこもると電子制御部品に影響をおよぼし、故障の原因になることがあります。

直射日光の当たる所や、周囲の温度が 32℃以上の高温になる所には据え付けないこと

電気部品の故障の原因になります。

水をこぼしても良い所に据え付けること

使用中にコーヒーや湯、蒸気などが周囲に飛び散ることがありますので、濡れると不都合なところでは、防水処理をしてください。

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにすること

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

熱器具の近くに据え付けたり、機械の上に熱器具を乗せたりしないこと

熱で本体が損傷して故障の原因になります。

凍結の恐れのある場所へは据え付けないこと

機械の故障の原因、および給水管の破裂から浸水し、周囲を濡らす原因になることがあります。

凍結の恐れのある場所への据え付けの場合は、お買上げ店にご相談ください。

本機の上に重量物や水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。

製品にもたれたり、乗ったりしないこと

ヤケドや製品転倒によるケガの原因になります。

給水に使用する水は、必ず飲料水を使用すること

他の水は、健康障害の原因になることがあります。

水道圧力は、流れている状態で 1.5kg/cm²以上で使用する

水圧が低いと、機械は正常に作動しません。1.5kg/cm²以下の場合はお買上げ店にご相談ください。

断水の時はメインスイッチを「OFF（切）」にし、水道栓を閉めること

開けておくと通水時、“赤水”が発生し、不衛生な水が機械に給水されます。

断水後や定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること

水の腐敗から、健康障害の原因になることがあります。

スチームノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないこと

ヤケドの原因になることがあります。

一日の営業終了後は、必ず接液部分および部品は洗浄すること

洗浄しないと雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。

自動洗浄以外の掃除や点検の時は、必ずメインスイッチを「OFF（切）」にして、専用電源も切ること

感電したり、ヤケドの原因になることがあります。

電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときに電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因になります。

付属の専用液体洗浄剤を取り扱うときは、ゴム手袋を着用すること

素手で取り扱うと、手荒れ原因になることがあります。

一週間以上ご使用にならない場合は、安全のためメインスイッチを切って、本機専用電源も「OFF（切）」にし、電源プラグを使用の場合はコンセントから抜くこと

発熱や発火の原因になることがあります。

排水管に詰まりがないか始業時に点検を行うこと

排水管が詰まると、漏水から周囲を濡らす原因になることがあります。

漏電遮断器は月に 1 回、動作確認すること

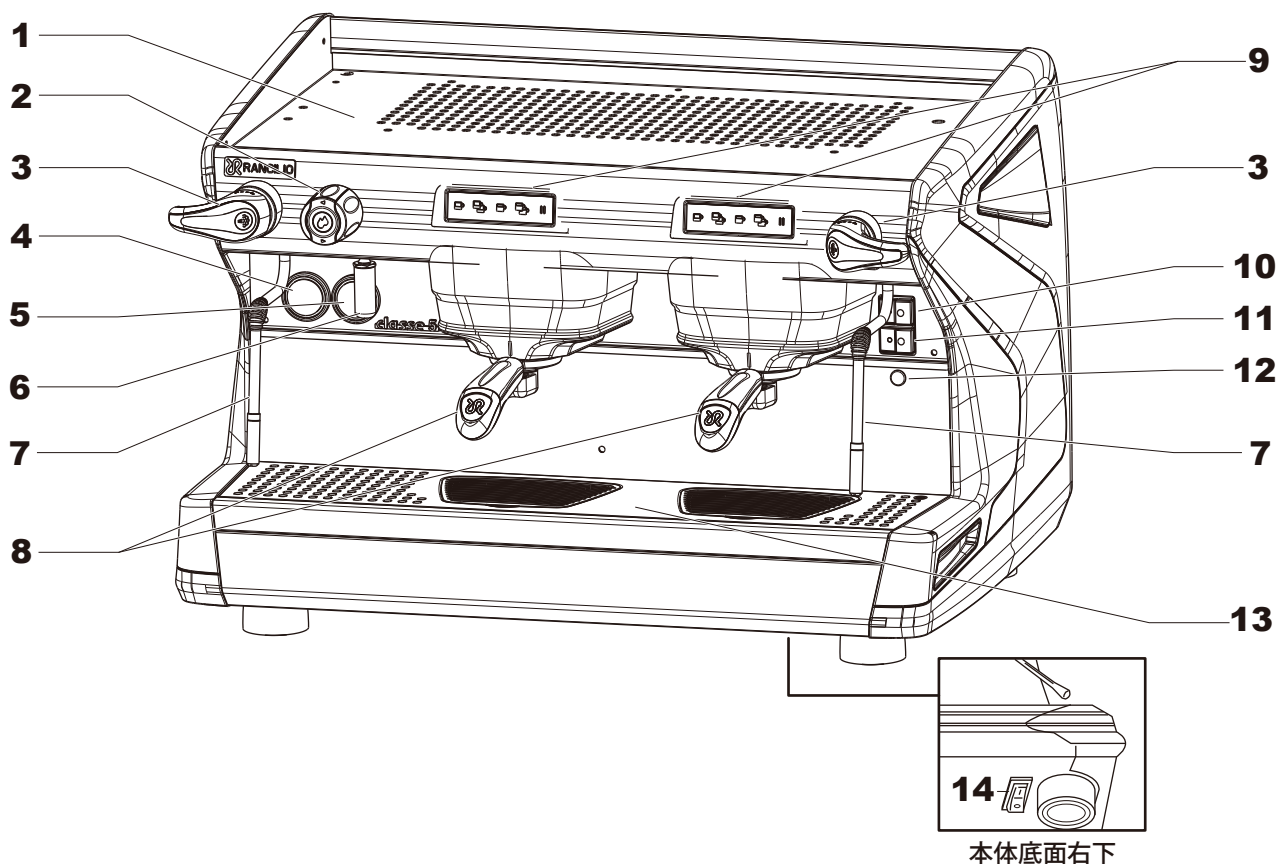
漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。

本機を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つところにテープ止めること

各部の名称

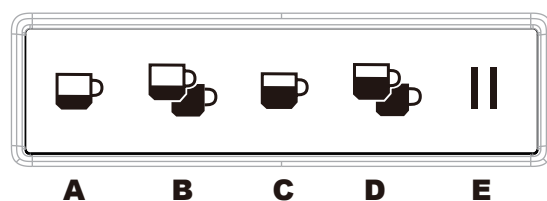
本体

USB2Gにて説明（USB1Gはスチームノブが回転ノブ式になります。）



- | | | |
|-------------------|-------------------------|--|
| 1 天板 | 6 熱湯ノズル | 11 カップウォーマースイッチ
※カップウォーマーは搭載されていません。 |
| 2 熱湯ノブ | 7 スチームワンド（ノズル） | 12 給水センサーランプ |
| 3 スチームノブ | 8 フィルターホルダー | 13 ドリップトレイ |
| 4 水圧計・抽出圧計 | 9 抽出ボタン（下記に詳細記載） | 14 電源スイッチ（本体底面右下） |
| 5 ボイラー圧力計 | 10 ボイラースイッチ | |

抽出ボタン



- A** シングル 1 杯抽出ボタン
- B** シングル 2 杯抽出ボタン
- C** ダブル 1 杯抽出ボタン
- D** ダブル 2 杯抽出ボタン
- E** 手動抽出ボタン

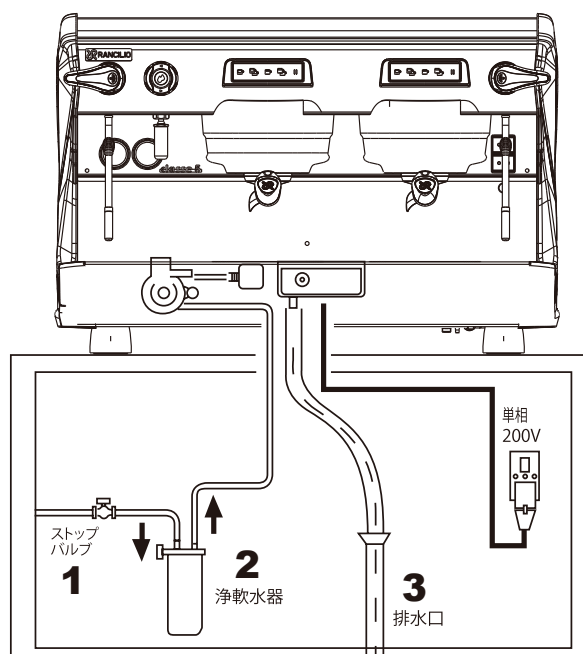
付属品チェック

下記のパーツが入っているか確認してください。()内の数字は、2連用のパーツ数です。

- ・一人用フィルターホルダー……………1 (1) ・ホースの留め金……………1 (1) ・洗浄ブラシ……………1 (1)
- ・二人用フィルターホルダー……………1 (2) ・給水用メッシュチューブ……………1 (1) ・接続ニップル……………1 (1)
- ・ブラインドフィルター(クリーニング用) ……1 (2) ・排水用ホース……………1 (1) ・洗浄剤……………1 (1)

設置例

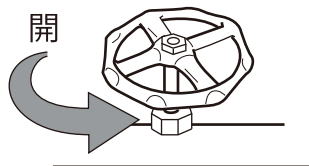
- 1** 接続前に、ストップバルブより水を十分に流出させ、水道管内の異物を取り除いてください。
- 2** 浄軟水器の OUT 側を接続する前に浄軟水器に水を通してカートリッジ内の微粉を取り除いてください。
- 3** 排水ホースはできるだけ最短のものを選び、トラップが発生しないようにしてください。



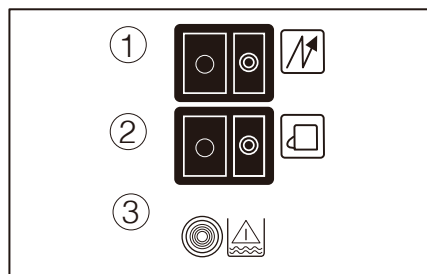
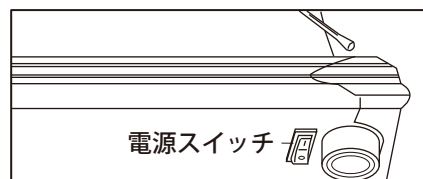
操作方法

立ち上げ手順

- 1 水道の元栓を開いてください。
- 2 本体底面右下にある電源スイッチをONにしてください。自動で給水が始まります。



- 3 給水センサーランプが消えたらボイラスwitchをONにしてください。
- 4 ボイラー圧が1barになると適温です。



- ①ボイラスwitch ③給水センサーランプ
②カップウォーマースwitch

エスプレッソコーヒー抽出方法

- 1 フィルターホルダーが冷たいときは抽出したコーヒーがぬるくなりますので、コーヒー抽出ボタンを押して熱湯だけを出し、フィルターホルダーをあらかじめ温めてください。
(フィルターはフィルターホルダーに付けておいてください。)

- 2 フィルターホルダーのフィルター内にコーヒー粉を入れてください。

- 3 タンパーでコーヒー粉を軽く押さえて平らにしてください。
フィルターのフチに付いた粉を手の平で拭き落として下さい。

- 4 フィルターホルダーの出っ張り と 抽出装置のくぼみを合わせて、反時計回りに回してフィルターホルダーを取り付けてください。

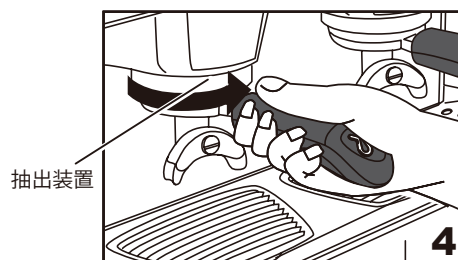
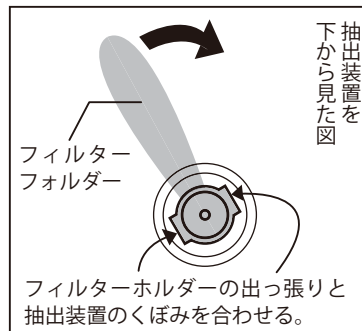
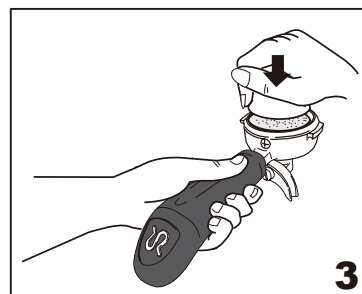
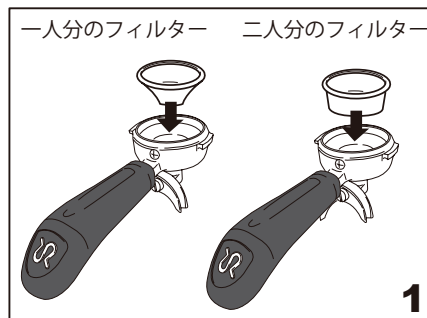
- 5 抽出口の下にカップを置き、お好みの抽出ボタンを押してください。



シングル 1 杯抽出 シングル 2 杯抽出 ダブル 1 杯抽出 ダブル 2 杯抽出 手動抽出ボタン

手動抽出ボタンを押すと自動では停止しないので、もう一度手動抽出ボタンを押して抽出を停止させてください。

- 6 設定された量のコーヒーが抽出されると、自動的に抽出が停止します。



コーヒー抽出量の設定

1 手動抽出ボタンが点滅するまで手動抽出ボタンを長押ししてください。

⚠ 注意 | 手動抽出ボタン長押し中、湯が少し出るのお気をつけ下さい。

2 コーヒー粉を入れたフィルターホルダーを抽出グループにセットしてください。

3 抽出口の下にコーヒーカップを置いてください。

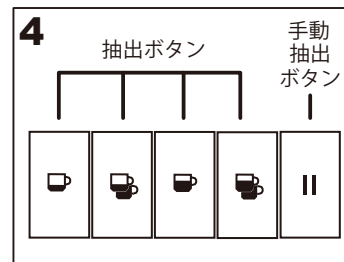
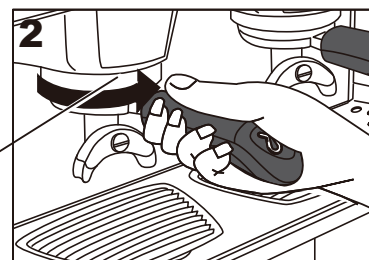
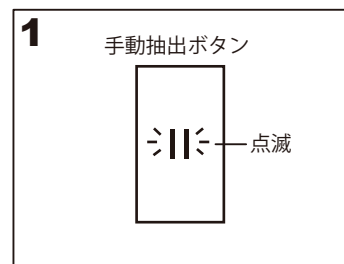
4 設定量を変更したい抽出ボタンを押してコーヒーを抽出してください。
コーヒーは出続けます。

5 お好みの量まで抽出して、再度設定中の抽出ボタンを押してください。
抽出が止まり、変更した設定量が記憶されます。

6 最後に手動抽出ボタンを押し、抽出モードに戻ってください。

引き続き設定を行う場合は **4** の操作を行ってください。

※左端の抽出装置の設定をしますと、その他の抽出装置も同じ設定となります。
抽出装置の設定をそれぞれ異なる設定にする場合は必ず左端の抽出装置より設定してください。



熱湯の給湯方法

1 熱湯ノズルの下に容器を置いてください。

2 熱湯ノブを左（反時計方向）に回すと熱湯ノズルから熱湯がでます。

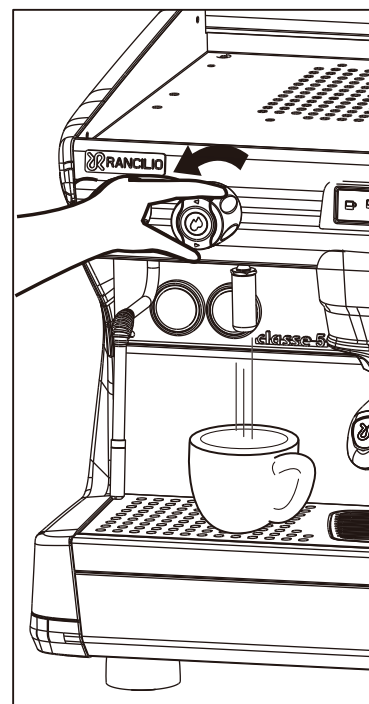
熱湯を止めるときは、熱湯ノブを右（時計方向）に回してください。

⚠ 警告 熱湯の使用・使用直後は、熱湯ノズルが非常に高温になりますのでヤケドに注意してください。

⚠ 警告 熱湯はノズルから沸騰した状態で出てきます。熱湯ノブは注意してゆっくり開いてください。

⚠ 警告 熱湯から出る湯気によりノブが非常に熱くなる場合があります。

⚠ 注意 大きな容器に一度に多量の湯をとるとボイラー圧力が低下し、コーヒーの抽出やスチームの使用に支障をきたします。

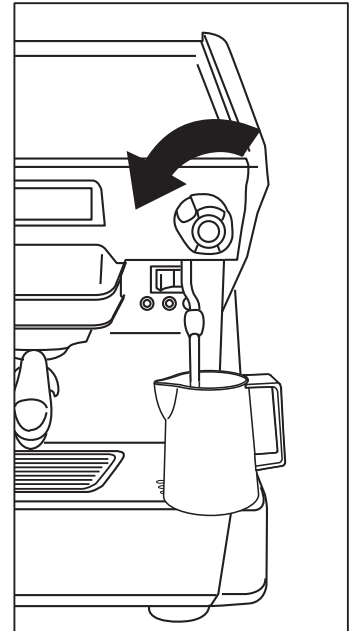


操作方法

蒸気の取り出し方法

USB1G の場合

- 1 スチームノズルをあらかじめドリップトレーに向けておいてください。
- 2 スチームノブを下方向に押さえノズル内の水を出してください。
- 3 スチームノブを左（反時計方向）に回すとスチームノズルから蒸気がでます。
回している間、熱湯が勢いよく飛び出しますのでご注意ください。
スチームノブをゆっくりと開いていき、飲み物を加熱します。
スチームの噴出し音が低くなり泡の出方が激しくなったらノブを閉めます。
- 4 スチームを止めるときは、スチームノブを右（時計方向）に回してください。
- 5 使用後はスチームノズルに付着したミルクを、清潔な布で拭き取ってください。
- 6 もう一度スチームノブを下方向に押さえ、数回蒸気を出す動作を行ってノズル内が詰まり、故障の原因になる事があります。



- 警告** スチーム使用に際しては、はじめにパイプ内に結露した水（湯）が出ますのでヤケドに注意してください。
- 警告** スチームの使用・使用直後は、スチームノズルが高温になりますのでヤケドに注意してください。
- 警告** 加熱しすぎますと容器内で激しく沸騰しヤケドの原因となりますので、ご注意ください。
- 注意** スチーム使用後はパイプを湿った布でよく拭きスチームの空だしを行ってください。（パイプ内にドリンクが詰まり異臭発生や故障の原因となります。）
- 注意** ノズルは高温になるので金属部分は触らず、ゴム部分を触るようにしてください。

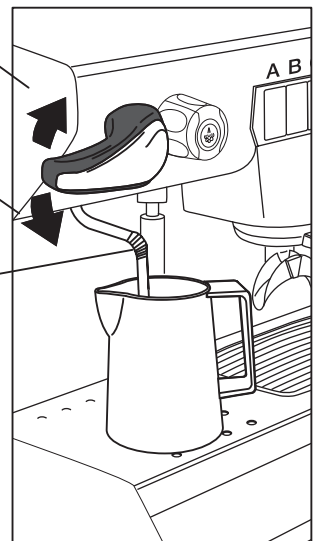
USB2G の場合

- 1 スチームノズルをあらかじめドリップトレーに向けておいてください。
 - 2 スチームノブを下方向に押さえノズル内の水を出してください。
押さえ続けている間、熱湯が勢いよく飛び出しますのでご注意ください。
 - 3 蒸気が出るようになれば、いったんスチームノブから手を離して、スチームノズルをミルクの入ったピッチャーに入れてください。
- 注意** ノズルは高温になるので金属部分は触らず、ゴム部分を触るようにしてください。
- 4 再度、スチームノブをゆっくりと下方向に押さえってください。
使用後は、スチームノブから手を離し、ピッチャーをノズルから外してください。
連続してスチームを使用する場合は、スチームノブを上方向に上げるとノブが固定されてスチームが噴出し続けます。
やめる場合は下方向に戻してください。
 - 5 使用後はスチームノズルに付着したミルクを、清潔な布で拭き取ってください。
 - 6 もう一度スチームノブを下方向に押さえ、数回蒸気を出す動作を行ってください。
ノズル内が詰まり、故障の原因になる事があります。

スチーム連続使用
（ノブ固定）

回している間だけ
スチーム噴射

ゴム部分



基本設定

設定項目を変更するのは各ボタン(A～E)を使用します。
ボタン名はA～Eで説明しています。



本体底面右下

① 手動抽出ボタンの有効/無効

本体底面右下の電源スイッチをOFFにしてください。
左側抽出グループのAボタンを押しながら電源スイッチをONにしてください。
手動抽出ボタンを押し有効↔無効になっているか確認してください。



A

② プログラム設定の有効↔無効

本体底面右下の電源スイッチをOFFにしてください。
左側抽出グループのBボタンを押しながら電源スイッチをONにしてください。



B

毎日の清掃

抽出装置の清掃（毎日の清掃） USB2Gにて説明

- 1 ブラシを使用してシャワープレートの外側を洗浄してください。
- 2 左側抽出グループのCボタンが点滅するまで長押ししてください。
- 3 2本のフィルターホルダーにクリーニング用のブラインドフィルターをセットしてください。
- 4 ティースプーン1杯（8g）専用の洗剤を入れてください。

専用の洗剤

セミオート用コーヒーライン洗浄剤

ESP-1500

885267

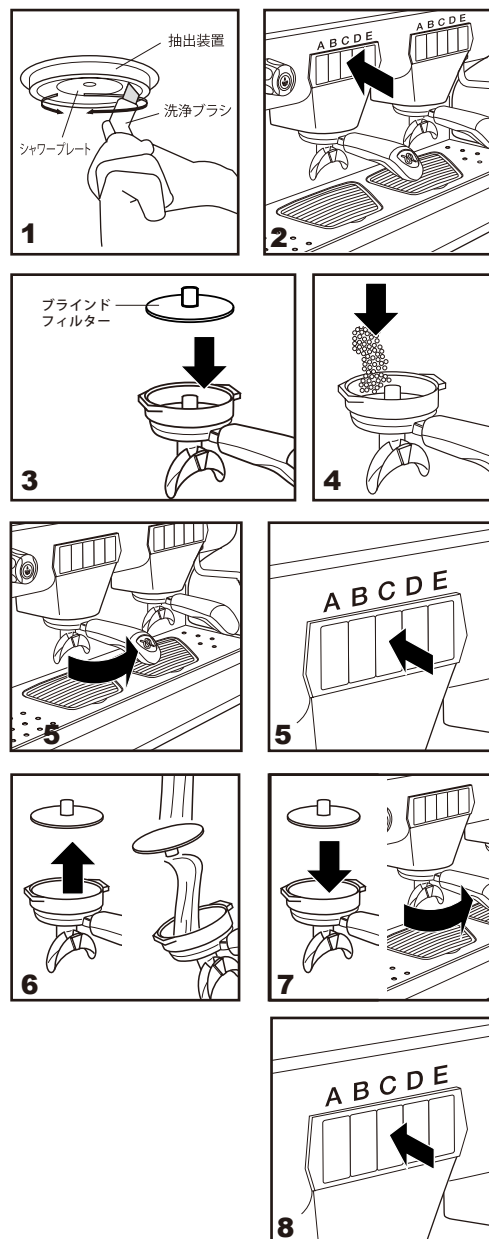
容量 750g

お求めはマシンご購入先にお問い合わせください。

- 5 フィルターホルダーをマシン本体の左右抽出グループにセットしてください。
Cボタンを1回押してください。
約3分30秒後に自動的に停止します。
全ボタンが点灯すると1回目の洗浄は終了です。
- 6 マシン本体の左右抽出グループからフィルターホルダーを取外してください。ブラインドフィルターを取り外し、フィルターホルダーを洗浄してください。
- 7 もう一度、ブラインドフィルターをフィルターホルダーにセットし、マシン本体の左右抽出グループにセットしてください。
- 8 Cボタンを押してください。（すすぎが開始されます）
120秒のすすぎが完了するとクリーニングは終了です。
（ボタンは全て点灯状態）
マシン本体の左右抽出グループからフィルターホルダーを取り外してください。

注意 | すすぎ作業中は抽出装置から湯が出るのでお気をつけください。

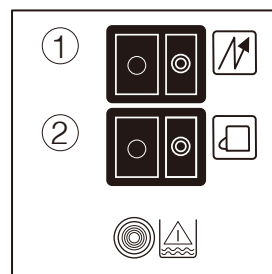
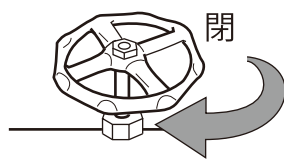
- 9 フィルターホルダー金属部、フィルター、クリーニング用カップぬるま湯の入った容器に入れて洗浄してください。



終業時手順

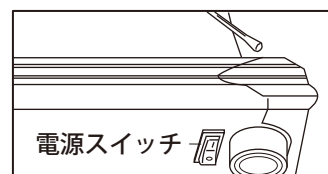
※終業時には必ず抽出装置の清掃（毎日の清掃）を行ってください。

- 1 ボイラースイッチをOFFにしてください。
- 2 本体底面右下にある電源スイッチをOFFにしてください。
- 3 水道の元栓を締めてください。



① ボイラースイッチ

② カップウォーマースイッチ



	RANCILIOエスプレッソマシン
モデル	CLASSE5 USB1G
外形寸法(mm)	幅 410/奥行 540/高さ 520
重量(乾燥重量)	35kg
電源：消費電力	単相200V：1600W

	RANCILIOエスプレッソマシン
モデル	CLASSE5 USB2G
外形寸法(mm)	幅 770/奥行 540/高さ 520
重量(乾燥重量)	56kg
電源：消費電力	単相200V：3220W

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更される事がありますのでご了承ください。

製品保証書

型 式	RANCILIO CLASSE5 -2, -3	機番	保証期間
お 客 様	お名前	様	お買上げ日より 1 年
	ご住所 〒		お買上げ日
	電話 () —		* 年 月 日
*販売店名			
住所			
電話 () —			

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。
ご販売店さまへ：*印欄は必ず記入してお渡してください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
 - お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

ラッキ-コ-ヒ-マシン 株式会社

本 社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777

東京本部
広 域 営 業 部 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa副成門ビル TEL(03)5400-3483 FAX(03)5400-5724

営業所

札幌営業所 〒004-0005 札幌市厚別区厚別東五条1丁目4番26号 TEL(011)898-3636 FAX(011)897-1467
 東京営業所/東京ショールーム 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa副成門ビル TEL(03)5400-5720 FAX(03)5400-5723
 名古屋営業所/名古屋ショールーム 〒451-0046 名古屋市中区牛島町5番4号 TEL(052)587-7678 FAX(052)587-7677
 大阪営業所/大阪ショールーム 〒537-0001 大阪市東成区深江北3丁目5番7号 TEL(06)4259-2655 FAX(06)4259-2660
 福岡営業所 〒813-0062 福岡市東区松島6丁目2-1 TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356
 福岡ショールーム 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目9-3 博多駅前シティビル TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356